







## 学年道徳で 「コロナ禍における人権」について 考えました。

5月7日(金)の4校時に「自分ならどうする?~コロナ禍における人権~」と題して、「コロナウイルスに関連する事象を知り、正しい言動について考えよう。」をめあてに、学年みんなでコロナ禍における「自分の在り方」や「周りへの配慮ある行動」について考えました。

はじめに、実際に報道されたそれぞれ6つの事象について知りました。

<p>報道された事象 1</p> <p><b>感染した人</b>の名前や住所がネット上で公開され、誹謗中傷を書き込まれた。</p> 	<p>報道された事象 2</p> <p><b>感染した学生がいる大学</b>に「感染した学生の住所を教える」といった内容の電話やメールが多数寄せられた。</p> 	<p>報道された事象 3</p> <p><b>感染者が出た大学の学生</b>が、アルバイトを解雇された。</p> 
<p>報道された事象 4</p> <p><b>医療従事者</b>が、タクシーに乗車拒否されたり、飲食店に入店拒否されたりした。</p> 	<p>報道された事象 5</p> <p><b>長距離トラックの運転手</b>の子どもが、体調に問題がないにもかかわらず、学校から自宅待機を求められ、入学式に行けなかった。</p> 	<p>報道された事象 6</p> <p><b>宅配業者の配達員</b>が、配達途中、見知らぬ人からすれ違いざまに「コロナを運ぶな」と除菌スプレーを吹きかけられた。</p> 

この資料を読んで、

- ①自分が下線部の立場ならどう感じるか。どう思うか。
- ②これら事象の問題点は何か。
- ③問題となる言動をした人たちは、なぜそのような言動をしたと思うか。

について、感じたことや考えたことを周りの人と出し合って共有しました。一生懸命に思いや考えを述べ合い、友だちの発言を傾聴しているみなさんの姿にまた2年生としての成長を感じました。さらに、それぞれの質問についての考えを学年全員の前で発表し、その思いや考えを学年みんなで共有しました。その時も、発言者におへそをきちんと向けて、真剣に傾聴姿勢で話を聴くことができていました。相手を大切に思うみなさんの姿がとても嬉しく思いました。



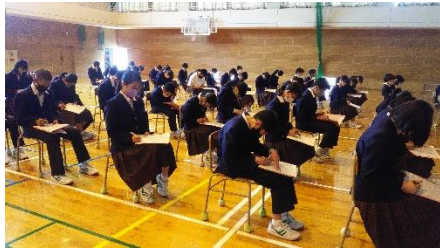
最後に、ふり返りとして、今日の授業の感想を書いてもらいました。この感想については授業の中で共有する時間がなかったので、この通信の紙面でみなさんと共有し、これからの自分自身のコロナ禍での在り方を考える資料になればと思います。

自分のことだけではなくて、まわりの人たちのことも考えて医療従事者などへの差別を忘れないようにしようと思いました。また、テレビやネットでの悪い情報に流されないようにしようと思います。



それぞれの事象についてのみんなの考えが全て納得できた。相手のことをよく考えて、行動することをこれからの生活にいかしていきたい。

今日の学習で、人は誰でも恐れを抱いていて、その恐怖からつい他人に当たってしまうことがあり、それは日常生活の中で消すことができると改めてわかった。



不確かな情報をうのみにして、身近な人などいろんな人を傷つけないことが大切で、相談に乗ったり味方になったりしてあげるのが大事だと思った。

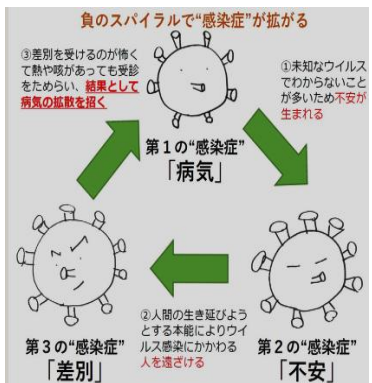
ウィルスを遠ざけるために、人を遠ざけたり傷つけたりするのはまちがっているということを、改めて思い知らされました。人を傷つけないように気をつけていきたいです。



コロナは感染だけが恐ろしいのではなく、そこから生まれた恐怖が、人の言動や行動によってもっと恐ろしいものになっているんだなと思いました。コロナを止めるために、今できるちいさなこと、「周りを考えて前のように楽しく過ごす」ということを意識してみんなでひとつになって戦っていけたらいいなと感じました。

コロナウイルスに感染した人が近くにいてもいなくても、まず相手のことを考えて行動することが何よりも大切だと思った。感染した人、周りに感染者がいる環境下にある人・・・自分のためだけにイヤなことを言ったりする人を出さないために対策をしていきたい。

これからSNSなどでの確かではない不確かな情報にとらわれないようにしていきたいなと思いました。そして相手のことをしっかり考えて思いやることが大切なんだと、強く感じました。



ウィルスを遠ざけるために人を遠ざけたり傷つけたりするのではなく、正しく恐れて正しく対処し、身体的な距離は確保しつつも、心と心の距離は作らず、つながって支え合っている関係をみんなで築いていきましょう。そして、まずは中学校での初めての体育会を、みんなで力を合わせて、成功できるようにがんばっていきましょう。